

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	保健体育課健康づくり推進室長 秦 美沙江	電話番号	0852-22-5425
----------	----------------------	------	--------------

事務事業の名称	児童生徒の健康管理実施事業		
目的	(1) 対象	県立学校の児童生徒	
	(2) 意図	病気の予防、早期発見、早期治療に努める	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 県立学校の児童生徒の健康状態を把握し、健康管理に努めるために学校医等を派遣して健康診断等を行う。 疾病等の早期発見・早期治療により健康の保持増進に努め、健康で安全な学校生活を送ることができるよう県立学校の児童生徒の健康診断を実施する。 県立学校の児童生徒及び教職員を対象として、心と体の悩み等を解決するために専門医による健康相談等を実施する。 県立特別支援学校小・中学部の要保護・準要保護の児童生徒に対して、医療費の負担を軽減するための費用を助成する。 		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	目標値		98.5	99.0	99.5	100.0	%
	式・定義	取組目標値						
	式・定義	実績値	87.5					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
	式・定義	取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	70,046	71,697
うち一般財源 (千円)	70,046	71,697

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- 心電図精密検査の受検率は昨年度と比較し高くなったものの、100%には達していない。
- 健康相談事業においては9割以上の学校が本事業を活用し、各学校の健康課題解決に向けた取組を行った。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

- 心電図検査については、養護教諭研修を通して健康管理の目的及び主治医や保護者との連携を踏まえた取組の重要性について指導したことや、精密検査が必要な児童生徒の事後指導や管理が徹底できるよう報告書様式を改善したことにより、精密検査(2次検査)の実施率が高くなってきたと考える。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

- 本来は対象者の精密検査実施率は100%となるべきだが、まだ達成できていない。

②困っている状況が発生している「原因」

- 学校全体で健康管理の重要性について共有できていない。
- 養護教諭が行う心電図検査の事後指導が徹底されていない。
- 健康管理に対する児童生徒及び保護者の認識が低い。

③原因を解消するための「課題」

- 学校全体で健康管理の重要性について共有できるようにする必要がある。
- 養護教諭が行う心電図検査の事後指導を徹底する必要がある。
- 健康管理に対する児童生徒及び保護者の認識を高める必要がある。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- 養護教諭研修等を通じ、健康診断の事前事後指導内容について、教職員間で共通理解を図るよう周知徹底する。
- 児童生徒、保護者に対し、健康診断の意義や目的、有所見時の望ましい保健行動について指導及び啓発する。
- 各校から当該に提出される報告書については報告内容を細かくチェックし、必要があれば受診状況を確認するとともに、受診勧奨について指導する。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)